



おにぎり通信

2023年3月18日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、

日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

この通信が皆様のお手元に届くころには、桜が咲いているのでしょ

うね。今年は久しぶりに行動制限のない春なので、どこもかしこも

花見でにぎわっているのだと思います。

福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

◆おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ

◆おにぎりは、お1人1個で、その日のうちにお召し上がり下さい

日付	19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)	22日 (水)	23日 (木)	24日 (金)	25日 (土)	26日 (日)
東京都 千代田区	晴 15/6 10%	曇時々晴 18/7 20%	曇時々雨 18/9 70%	雨時々曇 19/12 80%	雨のち曇 20/16 90%	曇一時雨 22/18 70%	雨 16/15 80%	曇一時雨 17/12 70%

はなみ れきし 【花見の歴史】

はるいちばん たの はなみ いったい
春一番の楽しみであるお花見ですが、一体いつからあるものか、
こんかい はなみ れきし はなし
今回は花見の歴史についてお話しします。

いっせつ はなみ ならじだい きぞく はじ ふうしゅう どうしょ
一説に、花見は奈良時代の貴族が始めた風習といわれます。当初は
さくら はな ちゅうごく でんらい うめ はな かんしょう
桜の花ではなく、中国から伝来した梅の花を觀賞するものでし
た。

へいあんじだい はい はなみ ちゅうしん うめ さくら しだい うつ か
平安時代に入ると、花見の中心は、梅から桜へと次第に移り変わっ
ていきました。さくら はなみ きげん ししょ にほんごき
桜での花見の起源は、史書「日本後紀」によると、
さかてんのう もよお うたげ する
嵯峨天皇が催した宴だと記されています。

はなみ ふうしゅう かまくらじだい はい ぶしかいきゅう ひろ
花見の風習は、鎌倉時代に入ると武士階級にも広がっていきまし
た。れきしじょうあまたおこな はなみ なか とく ゆうめい とよとみひでよし
歴史上数多行われた花見の中でも特に有名なものが、豊臣秀吉の
よしの はなみ だいご はなみ
「吉野の花見」や「醍醐の花見」です。

とく だいご はなみ はなみ めいぶつ さんしよくだんご はい ふ ま
特に「醍醐の花見」は花見の名物「三色団子」が初めて振る舞われ
たものといわれています。

えどじだい くだ はなみ ふうしゅう しょみん ひろ
江戸時代に下ると、花見の風習は庶民にも広がっていきました。

こういった きぞくぶんか ゆらい はなみ べつ のうみん ま ながねん
こういった貴族文化に由来する花見とは別に、農民の間でも長年、
ほうさくきかん しんじ はなみ おこな
豊作祈願の神事として花見が行われてきました。

さくら はる やま お た かみさま やど しん
桜には、春に山から降りてくる「田」の神様が宿ると信じられてお
り、さくら はな さ かた のうさくもつ しゅうかく うらな かいかじき あ
桜の花の咲き方で農作物の収穫を占ったり、開花時期に合わ
せていね たね じゅんび おこな のうみん さくら たいせつ
せて稲の種まき準備を行ったり、と農民にとって桜はとても大切
なものだったのだそうです。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようび ごご じ
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)